講義名	スポーツ科学演習Ｂ（ゴルフ）				
科目区分	健康スポーツ科学				
担当教員	坂井　隆秀				
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 ３時限	授業形態			
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科／ 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2019年度 人間社会学部 観光学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	備考	

主題と概要

ゴルフは、手軽に行うことの出来るスポーツとして以前とは異なり環境が整備されてきた。そのため性別年代を問わず広く楽しめる生涯スポーツのひとつとして捉えられている。しかし皆が気持ちよくゴルフを楽しむためには、技術の習得のみならず、ルール・マナーを守ることにより、お互いが気持ちよくプレーする事や、事故などのトラブルを回避することも学ばなければならない。
本授業では、ゴルフの技術、ルール、マナーなど全般的な事を理解する。そして実践のために必要なプレーヤーとして正しい知識の習得を目的とする。

到達目標

１．「健康」獲得の方法を体得できるようになる。
２．歴史やルール、基礎技術等を理解し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることが出来るようになる。

提出課題

ゴルフプレーを円滑に実施するためのルール・マナーについて理解し、習得しているかレポートの提出を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

提出された課題・レポートに対してコメントをつけて返却します。

評価の基準

＊授業実施時間数の４回以上欠席したものは単位を認定しない。
＊９回分の講義についてのレポート課題・・・・・・・・・・・・・・３０％
＊授業中の評価：授業態度など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０％
＊期末期の評価：最終レポート課題・・・・・・・・・・・・・・・・・１０％

履修にあたっての注意・助言他

ゴルフ初級者を対象に授業を進めていきます。
参加者により授業内容を変更する場合があります。

教科書

. 使用しない.

プリント資料及び参考文献

授業計画

第１回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第２回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第３回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第４回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第５回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第６回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第７回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第８回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第９回　　代替授業（「課題学修型」、「同時双方向型」および両者の併用）
第１０回　　実技（３密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第１１回　　実技（３密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第１２回　　実技（３密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第１３回　　実技（３密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第１４回　　実技（３密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
第１５回　　実技（３密を防ぐため内容が当初予定していた種目と変更になることがあります）
＊新型コロナウイルスの影響により、シラバスを変更する場合があります。
　また、種目についても３密を防ぐ目的から内容を変更する場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
○	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

紳士、淑女のスポーツとされる「ゴルフ」に触れるにあたり、ルールやマナーについて事前に理解を深めておく必要がある。また、技術は一度の練習で身につくものではないので、毎授業後、繰り返し反復練習をすることが望まれる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考